ちいきの話題

旧竜森小跡地を「竜森小公園」に

▲旧竜森小跡に地元住民や子どもらが木を植え 「竜森小公園」と名付けました

勇気ある行動で延焼を阻止

●地元住民らで公園整備

と地名元

デなど計200本を植樹しました。 付けました。 住民らが木を植え、 学校跡地を整備しようと11 マモミジ、 通っていた児童、 人魂の式には、 この日行われた植樹作業と公園の命名 0人が参加、 学校統合のため閉校となった旧竜森小 イタヤカエデ、 約1盆のグラウンドにヤ 住民ほか3月まで同小に 卒業生、 「竜森小公園」 教師など約1 月8日、 ハウチワカエ

園を、 の場と います。 森学区振興協議会(大川昭一会長)では公 ると大きな拍手が沸き起こりました。 変わった公園を「竜森小公園」と命名す 作業終了後の入魂式では新たに生まれ 野外行事やスポ して活用を図っていくこととして ・ツなどでの交流

●初期消火活動等の奏功者に感謝状を贈呈

ことができた。 的確な行動により被害を最小限に抑える 生しているのに気がつくと、 院内の消火器を手に取り、 辺に火事ぶれ。 と勇気ある行動を称えました。 内山さん、 心から感謝を申し上げた

あいさつ。

交流会では、

参加者が各テ

ーブルを回

会食しながら、

旧友や知人との再会

増えていくよう協力してほしい」 の知り合いなどに声をかけて、 会も年々会員が減ってきている。

参加者が

皆さん

などと

生れ育った地に思いを馳せました。

最後は全員で「ふるさと」

を大合唱して

を喜び、懐かしい昔話に花が咲きました。

▲消防長から表彰を受ける3人。左から内山 太樹さん、桂田弘史さん、西根潤子さん

再会を喜び旧交深める

記念品を手渡したあと「皆さんの素早く 西根さんは、 西根潤子さん(花園町)、 した市民らに感謝状を贈呈しました。 火事は、 奏功者として感謝状を贈られたのは、 桂田弘史さん(綴子)の3人。 した火災で初期消火活動等に尽力 10月14日午後11時頃に発生。 待合室から中庭で火事が発 藤島孝雄消防長は感謝状と 延焼を阻止しました。 内山太樹さん(綴 身を挺して初 桂田さんは、 すぐさま周

●第23回東京ふるさと森吉会

東京ふるさと森吉会



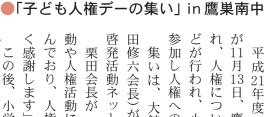
▲懐かしい昔話に花が咲いた「第23回東京 ふるさと森吉会」

るさとの話題などで旧交を深めました。 市ヶ谷(東京都)で行われ、庄一郎会長)が11月1日、

ついて懇談を深めました。 さとの近況を報告し、 総会で、 ふるさと懇談会では、 23回東京ふるさと森吉会総会(奥 奥田会長は「どこのふるさと 内陸線存続などに 津谷市長がふる アルカディ 再会を喜びふ

考えよう相手の気持ち、育てよう思いやりの心

をした、子ども人権デーの集い



13 日、

「子ども

人権デ

の集い

いての標語や作文の発表な鷹巣南中学校体育館で開か

この後、小学もしいで、く感謝します」などとあいさつ。く感謝します」などとあいさつ。んており、人権思考の高揚に尽力され深んており、人権思考の高揚に尽力され深 花子さん(浦田 啓発活動ネッ 中央小)、 栗田会長が「鷹巣南中は、 修六会長)が組織する、 し人権への理解を深めました。 |人権作文入賞の笹原茉優さん(鷹/小)、佐藤麻望さん(鷹巣南小)、 大館人権擁護委員協議会(栗 生など約250人が 齊藤穂乃香さ ク協議会の主催。 県北地域人権 人権の花運 ん(鷹

南中)らが標語や 作文を発表

と決意のことばを述べ

、ました。

▲人権標語や人権作文の優秀作品表彰や発表

●鷹巣スキーレーシングスポ少30周年式典



▲結成30周年を迎えた鷹巣スキーレーシング スポーツ少年団の記念式典

息長く声の広報活動を

朗読ボランティアやまびこが30周年

続けていきたい」などあい支えがあったから。これか を誓いました。 賓の北秋盲人協会・吉田勝春会長は、 みを振り返るとともに、 江代表)の30周年記念パ る朗読ボランティア・ 内の視覚障害者に届ける活動を行って また、 三澤会長は、 市内の料亭で開かれ、 使命感とともに地域のみなさん 音読テー プの利用者でも これからも頑張っ 動を続けてこられ やまびこ(三澤 グループの発展 これまでの! さつ。

0

を心から応援したい」 きている、 プによって精神的に社会参加がで という自覚がある。 と感謝の気持ち 会の発展 ある 音

▲長きにわたり「声の広報」活動を行ってきた朗読 ボランティアやまびこの30周年記念パーティ

広報紙などの音読テープを制作